

介護職員・保険代理店・弁護士など
介護事故に関わるみなさまへ

みんなで検討！



オンライン開催
参加自由・無料

9月25日開催

介護事故事例検討会のご案内

安全な介護では、毎月事故事例検討会を開催しています。主に特養や老健などの施設の介護事故事例を、みんなで検証したいと思います。介護職員や損害保険代理店や弁護士など、どなたでも参加は自由です(無料)。参加者に発言を求めることはありませんので、「事故カンファレンスの参考に聞いてみたい」という方もお気軽にご参加ください。

■ 事故事例検討会の進め方

事故事例を読み上げて、事例検討の方法をご紹介します。事例検討は下記の5つの視点で施設の対応に問題が無いかどうかを検討します。問題がある場合は、その改善策と一緒に考えてください。5つの検証の中で、一度だけグループ討議を交えて意見交換も行います。事前に事故事例に目を通してからご参加下さい。

次の5つの視点で事故を検証します。

1. 事故の過失の有無→防ぐべき事故だったのか？
2. 事故発生時の対処→マニュアル通り適切な対処ができたか？
3. 事故の原因分析→原因分析をしたか？それは適切だったか？
4. 再発防止策の検討→再発防止策を検討したか？それは適切だったか？
5. 事故後の家族対応→事故状況の説明など家族対応は適切だったか？

■ 開催要領

主催:株式会社安全な介護 協力:あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

日時:2023年9月25日(月) 13:30~15:00

参加資格:**リスクマネジメントに興味のある人はどなたでも参加できます**

申し込み方法:下記のURLからお申込み下さい。締め切り後に参加招待状をお送りします。

<https://bit.ly/3L2I2Jn>

オンライン方式:ZOOMを使用します

締め切り:9月18日

【お問い合わせ先】

株式会社安全な介護 担当:山田

mail : info@anzen-kaigo.com

2023年9月の事象事例

グループホームの散歩中の転倒事故で家族トラブルに

●利用者の状況

- 利用者の状況:Mさん 女性 75歳 要介護3
- 既往歴:多発性脳梗塞、高血圧症、認知症中程度
- ADL:移動・食事などの生活動作は自立であるが、排せつ・入浴はできる限り見守り
- 服薬:アリセプト・ラシックス

●事故発生状況及び発生時の対応状況

■平坦な道路で躓いて転倒

Sグループホームでは歩行に危険の無い利用者連れて、週に1回近くの公園に散歩に出かけます。職員2名で4名の利用者連れてゆっくり歩き30分ほど戻ってきます。散歩は気分転換になり、利用者は良く眠れるようになるので、できる限り毎日利用者連れて行きます。

ある時、道路を歩いていたMさん(75歳・女性)が平らな道路で突然躓いて、転倒してしまいました。2メートルほど先を歩いていた職員が駆け寄ると、「足が痛い」と言って立ち上がれません。職員は施設に連絡して「私の不注意でMさんを転倒させてしまいました。申し訳ありません。病院に行くので車をお願いします」と言って、車を要請して受診しました。事故直後にキーパーソンの息子さんに連絡し、介護職員は「外を散歩中に転倒させてしまいました、申し訳ありません。」と説明しました。

●事故後の家族への対応

受診して大腿骨骨折と判明すると息子は、「散歩に連れて行って欲しいなどと言った覚えはない。頼みもしないのにわざわざ外出させて転倒させたのだから、そちらが治療費や入院費を負担するのが当然。うちはお宅の入所費用だけで全く余裕がないんだから、金はビター文出せない。手術や付き添いのために店(自営の印章店)も休まなくてはならないからその休業補償も請求する」と強く主張しました。

GHでは、「介護計画書では散歩に行くことになっているし、皆散歩を楽しみにしています」と説明しましたが、「そちらがそうしたいと言うから渋々承諾しただけで本当は危険な散歩には行って欲しくない。そもそも用がないのに外出するのがおかしい」と言います。

保険会社に事故報告をすると「歩行自立の利用者の偶発的な転倒事故であり、施設に過失はないので保険金は支払えない」と言われてしまいました。

●事故原因分析と再発防止策検討

事故原因:4名の利用者に2名の職員では突然の転倒に対応できなかった
再発防止策:散歩に同行する職員を増やして1対1にする

事故事例検討用紙

●過失の有無 [防ぐべき事故だったか?]

●事故発生時の対処 [事故対応は適切だったか?]

●原因分析 [原因分析をしたか?それは適切だったか?]

●再発防止策検討 [再発防止策を検討したか?それは適切だったか?]

●事故後の家族への対応 [事故状況の説明など家族対応は適切だったか?]